

特定非営利活動法人(NPO法人) (通称: AAC21)

21世紀のカンボジアを支援する会

ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203
TEL 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213
E-mail: info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phom Thmey, Sangkat Rokathom, Krong Chbamon, Komponspeu, Kingdom of Cambodia
電話 (855) 12-737-559 (855) 78-784-808

【ホームページ】 AAC21 [検索](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

【Facebook ページ】 <https://www.facebook.com/aac21.net> [検索](#)

会報

幸福を、平和を、豊かな心を、 カンボジアの友と分かち合おう

アンコールワット

発行日 2013年（平成25年）11月1日

第73号

（年6回 奇数月発行）

Facebookページを開設しました！

このたび、本会のFacebookページを開設しました。
本会ホームページ(<http://www.aac21.net>)左下の「Facebookページ」ボタンからどうぞ！
※Facebookをやっていない方でも自由にご覧になれます。ページ右上の「いいね！」をいただくと嬉しいです。
※本会の一番ホットな情報を随時アップします。
※追って、会員の皆様のグループを作り、会員様同士の交流の場を設ける予定です。



飲料水浄化容器を寄贈した國學院大學国際協力サークル～優志～の皆さんと子どもたち

トンレサップ湖の船上小学校を訪問

カンボジアのほぼ真ん中にあるトンレサップ湖には、百万人以上が水上で生活しているそう。その集落の一つ、メイチュレイ村は、湖の北にある小さな村だ。

九月五日、國學院大學国際協力サークル「優志」のメンバー（三十六人）と本会の里親会員、鈴木千雄さんと友人、本会スタッフらが同村の小学校（生徒数二百四十三人）を訪問した。



訪問した家には獲れたばかりの魚がいっぱい

國學院大學の皆さんは、学校から要望のあった飲料水を浄化するため、容器（二十五本）を寄贈した。その後、狭い船の中で子どもたちと遊んだり、校長先生にインタビューし、船上で学ぶ苦労話を聞いた。小学校を訪問後、二つの班に分かれて子どもたちが住む家を訪問、生活の様子を伺った。村民の大半が漁師であり、訪問した家には獲れたばかりの魚がいっぱい。小魚が沢山あった。



子どもたちはボートを漕いで学校へ

子どもたちは、こうした湖上の家から小さなボートを漕ぎ、五、六人乗って通学する。午前中勉強した後、一旦帰宅し、昼食後再び登校する。半日しか授業をしないカンボジアの小学校の中であって、勉強を、首を長くして待ち望んでいる。強熱心な子どもたちを応援して良かったと感じた。

本会が主催する「第二十五回カンボジアふれあいの旅」でも、十一月一日に同小学校を訪問し、子どもたちに学用品を配布する予定だ。子どもたちは、旅の参加者に会える日を、首を長くして待ち望んでいる。

十年前と変わらない僻村の暮らし

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

九月十二日、コンボンスプー県オラル郡の山中にあるエミ小学校（二〇〇三年三月開校）に通学する教育里子の家（四人）を訪問した。エミ小学校までは時折り足を運ぶものの、子どもたちの家を訪問するのは、開校時に数軒の家を訪問して以来、二度目のことだ。遠いので、ついでにエミ小学校にも訪問した。

十年前には隣りに中学校もでき、現在五百人以上の子どもの通学している。



母子家庭のカムソートちゃん（小学校2年生、後ろが住まい）

エミ小学校には現在十四人の教育里子がいて、日本にいる教育里親さんから学資等の支援を受け元気で通学している。その中から、今回は時間の都合により四人の子どもたちの家を訪問した。

教育里子を選ぶ基準は、貧しい家庭にあって、かつ両親がいないか、片親の子どもに限定している。このような事情もあって、今回訪問したの家も貧乏の極限にあり、電気、水道（勿論井戸も）、ガス、トイレも何もない、ただ雨露をしのぐだけの壁もない狭い家に、親兄弟が就寝する場所が、若い女子が就寝する場所が、あいにく辺鄙な農村に置かれたまま。縫製工場が農村にもちらほらと出てきた。縫製工場が農村にもちらほらと出てきた。縫製工場が農村にもちらほらと出てきた。縫製工場が農村にもちらほらと出てきた。

現地活動のための新車購入にご協力ください



現地で使用している車

現地（カンボジア）で使用している車（トヨタハイラックス）は2003年、武藤滋様（静岡県沼津市・里親会員）により寄贈されましたが、購入後丸10年が経過し、かなり老朽化して参りました。そこで、同種の新車を購入することにいたしました。当初、中古車の購入を検討しましたが、カンボジアの道は悪路ですので、すぐに故障してしまう恐れがあります。新車の購入金額は約400万円ですが、現時点で半分の約200万円（大半が会員様からの寄付金）が寄せられております。なお引き続き、皆様のあたたかいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。（法人理事長 根岸恒次）

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さんに感謝の気持ちを

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、大多数の人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめしてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば68年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子ども達を支援する番です。 ※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【年会費】：子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入（毎月、年3回、年2回）のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。
- 【会費の用途】：学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金などに使われます。このほか、現地スタッフの給料、ガソリン代、事務所家賃など現地でかかる経費、通信費、印刷費など東京の本部でかかる経費として使われます。
- 【サポート期間】：最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙（日本語に翻訳）と写真が届きます。
- 【里子との交流】：里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、公的資金（税金）は一切いただいておりません。



技術指導する榎戸徹彦さん

第十三回「鑄造によるアクセサリ作り技術講習会」(夢ホーム)

日本宝飾クラフト学院（本校）東京台東区の本専任講師で、自宅にも工房を持つ榎戸徹彦さん（横浜市、里親会員）が夢ホームに「夢工房」を開設、本会の職業訓練プロジェクトとして、鑄造によるアクセサリ作りを指導している。

九月二十四日、二十七日、第十三回技術講習会が行なわれ、夢ホームや村に住む六人が参加した。当初、受講生全員が同じものを作っていたが、鳥、ワニ、うさぎなど、各人別々のアクセサリを作っている。これらが終了した生徒たちは、自由にデザインしたシルバークラッセサリを作っている。

次回（第十四回）の講習会は、十一月二十六日（二十九日）を予定。



技術指導する鈴木千雄さん

第十九回「もの作り技能講習会」開催(夢ホーム)

九月八日、十日、板金加工技術修得のための職業訓練プロジェクト「もの作り技能講習会」(第十九回)が夢ホームの職業訓練で行なわれ、夢ホームや近隣の子どもたちなど八人が訓練を受けた。講師は鈴木千雄さん（愛知県あま市、里親会員）。

今回は、洗いたらいを作成。鈴木さんの右手のけがも良くなって、鈴木さんが製作した物は中学校の校長先生に差し上げた。

次回、十一月は、講習会が二十回になったのを記念し、今までの受講生やふれあいの旅参加者を招いて、夢ホームの庭で祝賀パーティーを計画している。



井戸の完成を喜ぶ子どもたち

また9月20日、岡三証券（株）アジア情報館（東京都港区虎ノ門）の資金協力により完成した井戸の贈呈式が小学校で行なわれた。式には根岸理事長始め、カンボジアを訪問中の里親会員さんたちが出席した。

〈お願い〉

井戸の建設代金について、最近の円安傾向のため、また現地の物価高騰により、来年1月以降に作る井戸代金を現行の16万円から17万円に値上げせざるを得ない状況です。皆様のご理解よろしくお願いいたします。

9月に完成した井戸の内訳			
寄贈者名	小学校名・村名	生徒数・村民数	所在地
① 國學院大學国際協力サークル～優志～様	アンミンチエイ小学校	218人	コンボンスプー県コンビセイ郡
② 國學院大學国際協力サークル～優志～様	ブエスバウ村	438人	コンボンスプー県コンビセイ郡
③ 岡三証券 アジア情報館様	アンチャレイ小学校	205人	コンボンスプー県ソムロン郡

※通算の井戸設置数（2003年～）＝234基（9月現在）

九月はカンボジアの学校と村に三基の井戸が完成

9月7日、國學院大學国際協力サークル～優志～の皆さんが渋谷駅頭で募金を呼びかけ、集められた資金で完成した井戸（2基）の贈呈式が現地の小学校と村で行なわれた。式には学生の皆さんも出席、完成を祝うとともに式の終了後、子どもたちと楽しく交流した。

児童養護施設《夢ホーム》日記

児童養護施設《夢ホーム》は両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活の場として、会員の皆様のご厚意により、2009年1月に建物完成、同年3月に開園しました。現在、5歳から18歳までの17人の子どもたちが入園、近所の小・中・高等学校へ通学しています。



音楽指導する宮川公子さん

大勢の皆さんが訪問してくれました

9月、沢山の日本人の皆さんが夢ホームを訪問し、子どもたちと楽しく交流した。また、お米、お菓子などたくさん頂き、感謝！

訪問してくれた皆さん：國學院大學国際協力サークル～優志～（36人）、宮川公子さん、斉藤光彦さん夫妻、小林なおみさん親子、栗田和芳さん、鈴木千雄さんと友人、榎戸徹彦さん。



新入学の3人

高校生、中学生になりました

カンボジアの新学期は10月、サルン・トンヘアン君が高等学校に、イエン・ウドン君とリ・マクちゃん中学校に、それぞれ入学した。頑張れ、新入生！



産まれたての子犬たち

子犬が5匹も産まれました！

夢ホームで飼っている小さな犬が産気づき、9月に5匹の子犬が仲間に加わった。暫らくは夢ホームで飼い、何匹か嫁入り先を探すそうだ。



美味しそうなパイナップルの実

パイナップルが豊作

夢ホームは果物の木がいっぱいある。特に池の周辺には、最近植えたバナナ、パイナップル、竜眼、マンゴウなどが時期になるとたくさんの実を付け、子どもたちも楽しみにしている。

國學院大學国際協力サークル～優志～がカンボジア訪問



トンレサップ湖の小学校を訪問しボートから手を振る「優志」の皆さん

九月五日、鈴木千雄さん（愛知県あま市、里親会員）が、七月に訪問したタイ小学校（鈴木さんが二〇〇七年に校舎を寄贈）に隣接するタイ1中学校（生徒数二百五十人）を訪問、七月に続き生徒たちに学用品を寄贈した。

タイ1中学校の校舎は最近になり建てられたもので、鈴木さんが校舎を寄贈した小学校で学んだ子どもたちの大半が、今は中学校で学んでいた。

九月二日、十二日、國學院大學国際協力サークル～優志～（本校）東京都渋谷区（本）の皆さん（三十六人）が今年もカンボジアを訪問した。優志の皆さんは二〇〇九年から毎年この時期にカンボジアを訪問、今回で五回目。

カンボジア滞在中、本会と連携して井戸・トイレの建設、サツカーゴール、学用品、飲料水浄化容器、米など五回目ともなれば現地知り合いも増えて、夢ホームの子どもの顔なじみになって、お別れする日はハグや握手がいつまでも止まらなかった。今回は、調査活動に多くの時間を割いた。校長先生、村長、地域住民、子どもたちにインタビューするなど、さすが、学生さんが企画したスタディーツアーだった。来年も九月にカンボジア訪問を予定している。

優志の皆さんは、本校のある渋谷駅で街頭に立って、井戸建設等資金を集めている。渋谷駅周辺で歩き会ったら、ぜひ募金に協力してほしい。



学用品を配る鈴木さん

九月は中学校を訪問、学用品を寄贈

九月五日、鈴木千雄さん（愛知県あま市、里親会員）が、七月に訪問したタイ1小学校（鈴木さんが二〇〇七年に校舎を寄贈）に隣接するタイ1中学校（生徒数二百五十人）を訪問、七月に続き生徒たちに学用品を寄贈した。

タイ1中学校の校舎は最近になり建てられたもので、鈴木さんが校舎を寄贈した小学校で学んだ子どもたちの大半が、今は中学校で学んでいた。



完成を祝い記念撮影

カンボジアには、トイレのない小・中学校が沢山ある。また、トイレがあっても鍵がかけていたり、水が不衛生だったりして、子どもたちの教育環境は大変良くないといえる。

そこで本会は、日本で寄贈者を募り、トイレの設置を希望する小・中学校に対し、順次寄贈していく計画だ。

九月は、コンボンチャム県内の小学校に二人用トイレが完成、九日、寄贈してくれた國學院大學国際協力サークル～優志～の皆さんが出席して贈呈式が行なわれた。

トイレが完成した小学校のある地域は、雨季になると洪水が発生するため、床をメートル以上高くした。そのため、建設に相当の費用を要したが、立派な出来栄に寄贈した学生さんや子どもたちは大変喜んでいました。

洪水の多い小学校にトイレが完成！

夢ホームの子どもたち

チャイ・スレイルーオン（ニックネーム：れいちゃん）

誕生日は1995年6月10日（18歳）、パッタボン県出身。7人兄弟の6番目。父親は地雷の被害者で、足が不自由。母親は元気。

両親はいるものの、極貧家庭のため親と本人の希望で4年前、夢ホームに入園。現在、高校2年生。午前中通学し、午後は塾へ行ったり、夢ホームで賄いのお手伝いをする。子どもたちの中でもリーダー的存在で、みんなから慕われている。

将来は医者になるのが夢。成績も良く、学校でも人気者のようだ。



めがねが似合う、れいちゃん



夢ホームの子どもたちにプレゼントを渡す斎藤雅代さん

斎藤さん夫妻ら五人がカンボジアを訪問

九月十七日、二十二日、斎藤光彦さん夫妻、小林なおみさん親子、栗田和芳さんがカンボジアを訪問した。シエムリアップではアンコール遺跡見学とトンレサップ湖の水上生活者を見学、その後プノンペンに移動し、小林なおみさんの里子訪問、井戸贈呈式参加、夢ホーム訪問、リーソン元国会議員（本会顧問）と会食、美容院のりサーチ、プノンペンでマッサージ店を経営するポック・ナビーさんと会食するなど、多忙な滞在期間だった。

特に夢ホームでは、日本から持参したプレゼントを十七人の子どもたち一人一人に手渡し、子どもたちは歓声をあげ喜んだ。

里子家庭訪問記録	
名前：ソクリ・セイマイ	学校名：プレイチュム小学校
年齢：12歳	学年：小学校の5年生 性別：女の子
住んでいる場所：コンポンスプー県 ウドン郡、ヨトサムキーコミュニティ、トロピアンクナー村	
学校までの所要時間：徒歩で15分	
好きな教科：国語（特に書き取りが好きです。）	
苦手な教科：算数（特に足し算の計算を解くのが苦手で。）	
担任から一言：成績：A 道徳：A 健康：A 学校活動：A 出席：A	
家庭状況：現在、お母さんと暮らしています。兄さん0人、姉さん0人、弟さん0人、妹さん0で、ソクリ・セイマイちゃんはひとりっ子です。	
一日の過ごし方：朝6時に起きます。顔を洗って、家の周りを掃除して、朝水を浴びてから学校に通っています。授業が終わってから家に帰って来て、お母さんの料理の手伝いをし、昼食をして少し休みます。午後、牛の世話をしあげたり友達と遊んだりしています。夕食は6時に食べ、水を浴びてから、先生から出された宿題をして、8時ごろに寝ます。	
好きな遊び：ゴム跳び	
好きな食べ物：野菜スープ	
将来の夢：教師になりたいです。	



教室で掃除をしている写真です。

備考：ソクリ・セイマイちゃんは毎日元気で学校に通っています。先生は「セイマイちゃんはおとなしくて、がんばって勉強しています」と言いました。学校を出た後、すぐに家に帰ってお母さんの仕事を手伝ってあげます。あいている時間に本を読んだり、牛の世話をしあげたり、友達と遊んだりしています。「将来教師になりたいですから、毎日がんばって勉強しています」とセイマイちゃんは言いました。

担当者：ヴォン・ロットボレイ（現地スタッフ）



里子の髪をカットする小林さん

九月十九日、カンボジアを訪問中の小林なおみさん（千葉県成田市、里親会員）が一日をかけて、四人の里子が住む村を巡った。美容師の小林さんは、同じく美容師の娘さんと一緒に、里子や母親の髪をカットしてあげた。また、四人の里子へ日本から沢山のお土産を持参、行く先々で差し上げた。

クメール教育里親基金活動レポート

病気や事故、親の離婚などにより両親や片親を失い、経済的にも困窮しているカンボジアの子どもたちが学校へ行けるよう、二〇〇三年に「クメール教育里親基金」を創設、九月末日現在、約三百五十人の子どもたちを教育支援している。

九月十九日、カンボジアを訪問中の小林なおみさん（千葉県成田市、里親会員）が一日をかけて、四人の里子が住む村を巡った。美容師の小林さんは、同じく美容師の娘さんと一緒に、里子や母親の髪をカットしてあげた。また、四人の里子へ日本から沢山のお土産を持参、行く先々で差し上げた。

宮川公子さんがカンボジアで音楽指導



小学校での音楽発表会（右はお母さんたち）

九月九日、二十二日、宮川公子さん（宮城県石巻市、里親会員）がカンボジアを訪問して、夢ホームと近隣の小学校で音楽の指導を行なった。

夢ホームでは、キーボード奏法指導や歌唱指導を中心に行なった。また、近隣のトロピアンクレン小学校では、十三人、十五人の生徒たちを対象に鍵盤ハーモニカを指導、青年教師にはキーボード奏法指導を試みた。

トロピアンクレン小学校では、最後の日に生徒の父兄を招いて音楽発表会を行なった。また夢ホームでも、二十日、訪問したお客様の前で音楽発表会を行ない、喝采の拍手を頂いた。

宮川さんは、来年三月に再度カンボジアを訪問し、音楽指導を継続するつもりでいる。

町おこしのイベントで写真展開催

九月十五日、十六日、福井県高浜町で町おこしのイベント「路地祭り」が開催、会場にカンボジアの子どもの写真がたくさん展示された。高浜町に住む細網代さん（里親会員）が企画、遠藤啓さん（静岡県伊豆の国市、会員）が写真提供した。

二日目の十六日はあいにく台風の直撃を受け、イベントが中止になったが、十五日には大勢の来場者が写真を見に来た。



カンボジアの写真を見る来場者



JICA地球ひろばで行なわれた写真展



調布市文化会館たづくりで行なわれた写真展

東京都内二ヶ所で写真展を開催

カンボジア支援活動への理解と協力をお願いするため、都内二ヶ所で写真展「カンボジアの子どもたち」を開催した。

◎八月二日、六日、調布市文化会館たづくり「みんなの広場」で開催した写真展は、地元の本浩史さん（会員）が全面的に協力してくれ、大きな成果をあげた。



パン屋の前でパンを売るおばさん



カボチャの語源は？



移動式遊園地

パンを買いに来るお客をあてに、パン屋の前でフランスパンを売っているおばさんを見かけた。日本なら営業妨害で訴えられそうだが、そこはカンボジア、助け合って生きるのがカンボジアンスタイルだ。（写真：プノンペン市内のバイヨンベーカーリー前で）

カボチャとカンボジア、発音がよく似ているが、その昔、カンボジアから日本へ輸入されたので、日本ではカボチャといわれるようになったというのが通説。事実、カンボジアでもカボチャがよく売られており、生産もしている。（写真：道路端でカボチャ販売）

最近の日本の子どもたちは、これまで遊ぶことをしないようだが、カンボジアの子どもたちはこま遊びが大好き。四角い土俵でこまをぶつけ合う遊びだ。（写真：マーケットの片隅でこまを回して遊ぶ子どもたち）

カンボジアの観光地、シエムリアップへ行くのに、シエムリアップの大型レストランが軒を並べている。夕食時にはカンボジア伝統舞踊（アプサラダンス）鑑賞を楽しむ観光客でいっぱいだ。中にはプロの劇団もあるが、踊り子の多くは高校生、アルバイトして学費や生活費に充てるそうだ。見応えある踊りなので、アンコールワットを訪れた時には是非立ち寄りしてほしい。（写真：シエムリアップ市内のレストラン、クレーンIIのシアターで）

カンボジアの観光地、シエムリアップへ行くのに、シエムリアップの大型レストランが軒を並べている。夕食時にはカンボジア伝統舞踊（アプサラダンス）鑑賞を楽しむ観光客でいっぱいだ。中にはプロの劇団もあるが、踊り子の多くは高校生、アルバイトして学費や生活費に充てるそうだ。見応えある踊りなので、アンコールワットを訪れた時には是非立ち寄りしてほしい。（写真：シエムリアップ市内のレストラン、クレーンIIのシアターで）

カンボジアは雨季になると川が氾濫し洪水になることがあるが、最近ではバイクの洪水で狭い道路が氾濫し、特に都市部では、経済成長とともにバイクを持つ市民が急増、朝夕のラッシュアワーは身動きが取れないほどの混雑ぶりだ。（写真：プノンペン市内の交差点）

カンボジアの洪水
カンボジアは雨季になると川が氾濫し洪水になることがあるが、最近ではバイクの洪水で狭い道路が氾濫し、特に都市部では、経済成長とともにバイクを持つ市民が急増、朝夕のラッシュアワーは身動きが取れないほどの混雑ぶりだ。（写真：プノンペン市内の交差点）

どっへ行く、カンボジア！

七月二十八日に実施された第五回目のカンボジア国会（下院）選挙は、百二十三議席中、与党（人民党）が六十八議席を取り、野党（救国党）が五十五議席を押さえ、向こう五年間、政権を担当することになった。九月二十四日に開かれた国会で、人民党のフン・セン氏が首相に再任された。

しかし、野党側（救国党）は、選挙に不正があったとして、週末になるとプノンペン市内で大規模な抗議集会とデモ行進を続けている。九月十五日に行なわれた抗議集会では、群衆が一部暴徒化し、市内の至る所に設置されたバリケードを壊して川に投げたり、警備の警察官に向



支持者らとプノンペン市内をデモ行進する野党・救国党のサム・レンシー党首（右）

かって投石するなどしたため、野党支持者の一人が警察官の発砲で亡くなり、多くの市民が負傷した模様だ。

その後も抗議集会やデモ行進が週末に行なわれており、二十三日に召集された国会（下院）を野党がボイコット、カンボジアの政治情勢は混迷を深めている。シハモニ国王も黙っていななかった。政治には不介入の姿勢をとり続けてきた国王だったが、業を煮やして与党、野党双方の代表者を王宮に呼び、双方がよく話し合っ解決するよう仲介に乗り出した。近年では稀なことである。

このような事態はいずれ解消され、正常な国会運営がなされることを期待する。しかし、今回の選挙結果を受け、国民の政治への関心度が高まり、真の民主政治への方向が指し示された気もある。カンボジアの選挙権は十八歳から。五年後の下院選挙の結果、今は野党に甘んじている救国党が、政権を奪取する可能性がでてきた。

九三年の民主選挙以降、ほぼ政治の中枢を担ってきた与党・人民党だが、経済成長した割りには国民の暮らしは変わらなず、反面、高級官僚や企業家に富が集中しており、その怒りにも似た抗議行動が、選挙結果に現れたのだろう。

かといって、何ら経験を持たない野党が政権交代しても、日本の民主党の二の舞を演じることになろう。ここは五年間、じっくりと勉強してもらい、真の民主政治を標榜する政党として大きく成長してもらいたいと願う。

（理事長のブログ「メコンの風に吹かれて」より）

トゥッサナー・カンボジア

*トゥッサナーとは観察するという意味です。



1日40個くらい作る

コンポンチュナン州の焼き物村「オンドルルッセイ」

プノンペンから約三時間、カンボジア伝統陶器村で「焼き物の村 オンドルルッセイ」を訪ねました。ここはカンボジア中の伝統的な陶器を作っている陶器村と呼ばれているところです。

約二百世帯のほとんどが土鍋作りをしています。土鍋作りは、男たちがサトウヤシに登ったり田んぼに行ったりしている間の女の仕事。母から娘へと伝統の技が伝えられ、その方法は独特です。機械を使わず手作業です。家内工業ですね。低温で焼くので壊れやすいです。

（兵庫県宝塚市、理事・中野 勝）

カンボジア ニュース

フン・セン首相を再任、カンボジア下院野党はボイコット

カンボジア下院は九月二十四日、三十年近い長期政権を維持しているフン・セン首相を再任した。任期は五年。野党は総選挙に不正があったとして新たな抗議デモを行なうと警告している。

カンボジアでは七月の総選挙に不正があったとして大規模な抗議デモがあったばかり。最大野党のカンボジア救国党はカンボジアが「独裁」に向かっているとして議会を初日からボイコットしている。

東南アジアの中で政府の汚職対策が効果を上げていると信じる国民最多

東アジアの汚職・腐敗防止活動をしていけるNGO「トランススペアレンシー・インターナショナル」は二〇一三年の「日常生活と汚職行為：東南アジア地域の市民の考え」という汚職評価を発表した。

それによると、自国政府の汚職対策が効果を上げていると信じる国民が、東南アジア地域の中ではカンボジアが最も多いと指摘した。

二百五十メガワットの火力発電所が完成

カンボジア・エナジー・リミテッド社がプレア・シアヌーク州ストウハウン郡に新しい二百五十メガワットの火力発電施設を建設しており、八月に工事が終了した。

このプロジェクトは二〇一〇年二月に着工し、二〇一三年六月現在で五十メガワットの第一発電施設が完成している。そして、八月には第二発電施設が完成。関係者によると第一発電施設の試験運転は良好であったという。この発電施設の完成によりプノンペンの電力事情は改善される。

懇親会(忘年会)を開催します

会員相互の親交を深めるため、忘年会を開催いたします。参加を希望する方は、事務局へお申し込みください。

- 日 時：12月7日(土) 午後1時～3時
- 会 場：レストラン「サンアロハ」(横浜・山下公園近く)
- 会 費：4千円(振込票にて事前にお支払いください)
- 申込先：電話にて03-3991-2854(本会事務局) ファックスの場合は03-3557-1213

*申込みのあった方に会場への地図を郵送いたします。

活動に参加しませんか

ボランティアとして

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年三回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子ども達が学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる里親会員を募集しています。サポート金額は年間三万円(分割も可)です。

会員として

- ・個人会員 (年額一〇五千円)
- ・法人会員 (年額一〇二万円)
- ・里親会員 (年額三万円)
- ・会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で。
- 〈郵便振替口座番号〉
- 21世紀のカンボジアを支援する会
- 〈口座番号〉
- 0013000160916

※銀行振込をご希望の方は事務局へ一報ください。

※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へ一報ください。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

送り先：〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203 本会事務局へ

真珠のように輝く子供たちの瞳に出会ってみませんか？

「夢ホーム」で子ども達と楽しい交流・里子の家庭訪問・感動的な井戸の贈呈式・学用品配布・アンコールワット観光など

第26回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子ども達との交流をはかることができます。

特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子ども達が皆様をお待ちしております。併せて学用品配布などのボランティア活動にも参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。旅行代金も格安に設定しましたので、お気軽にご参加ください。

もちろんカンボジアといえば世界遺産の宝庫、アンコールワット観光(オプションツアー)も予定に入れました。

なお、募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、参加される方は、事前に会員登録(一口5,000円)が必要になります。



「夢ホーム」の子ども達が皆さんをお待ちしています



学校訪問では学用品を配布します

- 【旅行期間】平成26年3月5日(水)～11日(火) (5泊7日)
- 【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名) 先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。
- 【滞在ホテル】ダイヤモンドホテル(プノンペン)5泊
- 【利用空港】成田空港および関西空港など
- 【旅行日程】5日=成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのプノンペン国際空港へ。6日=小学校を訪問、井戸贈呈式と学用品配布など。7日=教育支援する里子の家を訪ね。8日=自由行動(オプションでアンコールワット観光あり)。9日=夢ホーム訪問、セントラルマーケットで買い物。10日=プノンペン市内観光後、夜8時頃チェックアウト⇒プノンペン国際空港から帰国の途へ。11日=早朝、成田・関西空港などに到着。
- 【旅行代金】15万円を予定。*現地までの航空券代、空港税、ビザ申請代、現地での宿泊代、食事代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。*1人部屋希望者追加料金5泊で12,000円。*日帰りアンコールワット観光27,000円(希望者のみ)*傷害保険は各自でおかけください。
- 【締切日】平成26年1月20日(月)

お問い合わせ・申し込み

旅行企画☆特定非営利活動法人 21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203 TEL: 03-3991-2854 E-mail: info@aac21.net http://www.aac21.net FAX: 03-3557-1213

事務局便り

■第二十五回カンボジアふれあいの旅は、いつもより少し早く、十月三十日～十一月五日に行なわれます。トンレサップ湖に浮かぶ水上生活の小学校を、湖の水位が下がる前に訪問するためです。旅の安全をお祈りください。

■本会のFacebookを開いたところ、掲載の記事や写真に多くの方々から「いいね」をいただいております。ホットな情報を随時アップしておりますので、どうぞご覧ください。

■理事長のブログ「メコンの風に吹かれて」も、現地情報を中心に毎月五日・十五日・二十五日(月三回)更新しております。

- 十一月～十二月の予定
- 会報「アンコールワット」十一月一日付第七十三号発行
- 第二十五回カンボジアふれあいの旅(十月三十日～十一月五日)
- 第六回小学校対抗サッカー大会(十一月二日～三日・現地に於て)
- 理事会(十二月七日、正午より・レストラン「サンアロハ」)
- 懇親会(忘年会)(十二月七日、午後一時より・レストラン「サンアロハ」)
- 写真展「カンボジアの子どもたち」(十二月十四日～二十四日、調布市民活動センター)